

登米市地球温暖化対策率先実行計画平成27年度二酸化炭素排出状況等について

市では地球温暖化防止のため、「登米市地球温暖化対策率先実行計画」を策定し、市の事務・事業から排出される温室効果ガス(二酸化炭素)の排出抑制に取り組んでいます。

今般、平成27年度分の温室効果ガス(二酸化炭素)排出状況を取りまとめましたので、次のとおりお知らせします。

1 調査の範囲

市所有の施設を対象

2 調査方法

電気・LPガス・灯油・A重油については、「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」に基づき、総務部総務課等が調査した「エネルギー使用量調査」を基に活動量の集計を行った。また、ガソリン及び軽油については総務部総務課財産係からの使用量の報告及び公用車管理部署からの報告、一般廃棄物(プラスチックごみ)の焼却量についてはクリーンセンターからの報告を基に活動量の集計を行った(【表1】を参照)。

【表1】平成27年度分各種使用量等集計結果

項目	単位	庁舎部門※1	市民利用系※2	学校等※3	合計
電気	(kWh)	2,299,085.34	31,351,772.33	4,625,714.70	38,276,572.37
LPガス	(m ³)	14,258.49	37,872.25	8,426.92	60,557.66
灯油	(ℓ)	49,818.96	361,097.50	329,512.00	740,428.46
A重油	(ℓ)	123,850.00	1,249,281.00	72,962.00	1,446,093.00
ガソリン	(ℓ)	139,576.71	1,389.95	5,587.94	146,554.60
軽油	(ℓ)	55,935.23	45,372.95	581.90	101,890.08
一般廃棄物の焼却※4	(t)	-	-	-	5,152.37

※1 「庁舎部門」の該当する施設は、各本庁・総合支所庁舎、消防本部、水道事業所等

※2 「市民利用系」の該当する施設は主に公民館、体育館及び保健センター等広く一般市民が利用する施設

※3 「学校等」の該当する施設は、小・中学校、保育所、幼稚園、学校給食センター及び児童館等

※4 「一般廃棄物の焼却」とは、一般廃棄物中のプラスチックごみの焼却量

3 二酸化炭素の算定方法

地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)施行令に基づき定められている排出係数を用いて算定。二酸化炭素の排出係数は【表2】のとおり。

※二酸化炭素の総排出量を適正に比較するため、基準年度(平成24年度)の排出係数となる。

【表2】二酸化炭素排出係数

活動の種類	二酸化炭素排出係数
電気の使用	0.600 kg-CO ₂ /kWh
LPガスの使用	6.00 kg-CO ₂ /m ³
灯油の使用	2.49 kg-CO ₂ /ℓ
A重油の使用	2.71 kg-CO ₂ /ℓ
ガソリンの使用	2.32 kg-CO ₂ /ℓ
軽油の使用	2.58 kg-CO ₂ /ℓ
一般廃棄物の焼却(プラスチックごみ)	2,765 kg-CO ₂ /t

4 二酸化炭素の総排出量

平成27年度二酸化炭素排出量	43,941,064.36 kg-CO ₂
----------------	----------------------------------

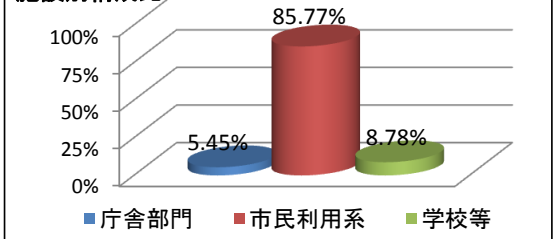
平成27年度の施設別構成比は【表3】、活動別構成比は【表4】のとおりとなった。

施設別では、市民利用系が全体の85.77%を占めている。また、活動種別では、電気の二酸化炭素排出量が52.27%と最も多く、続いて一般廃棄物の焼却が34.42%を占めている。

【表3】平成27年度施設別構成比

施設の区分	排出量(kg-CO ₂)	構成比(%)
庁舎部門	2,392,815.72	5.45
市民利用系	37,689,581.08	85.77
学校等	3,858,667.56	8.78
合計	43,941,064.36	100.00

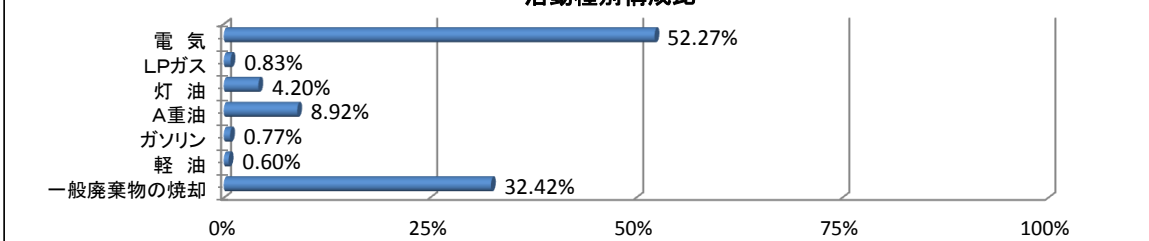
施設別構成比



【表4】平成27年度活動別構成比

活動の種類	活動量	排出量(kg-CO ₂)	構成比(%)
電気	38,276,572.37 (kWh)	22,965,943.42	52.27
LPガス	60,557.66 (m ³)	363,345.96	0.83
灯油	740,428.46 (ℓ)	1,843,666.87	4.20
A重油	1,446,093.00 (ℓ)	3,918,912.03	8.92
ガソリン	146,554.60 (ℓ)	340,006.67	0.77
軽油	101,890.08 (ℓ)	262,876.41	0.60
一般廃棄物の焼却	5,152.37 (t)	14,246,313.00	32.42
合計	-	43,941,064.36	100.00

活動種別構成比



5 各種活動量(項目・区別)の実数及び目標値

各種活動量を調査した結果【表5】、基準年(平成24年度)に対する比率が増加した項目は1種類あった。逆に比率が減少した項目は6種類であった。具体的な項目としては、基準年と比較し電気が△5.88%、LPガスが△35.16%、灯油が△5.01%、A重油が△7.39%、ガソリンが△16.05%、軽油が△12.05%と減少傾向にあったものの、一般廃棄物の焼却が34.36%増加傾向であった。

【表5】

項目	区分	平成24年度 (基準年) 活動量	平成27年度 活動量の目標	平成25年度 活動量	平成26年度 活動量	平成27年度 活動量	基準年に 対する比率 (平成27年度)	基準年に 対する増減率 (平成27年度)
		①	①×95%	②	③	④	⑤(④/①)(%)	⑥-100%
電気(kWh)	(庁舎部門)	2,506,281.80	2,380,967.71	2,397,308.00	2,342,826.90	2,299,085.34	91.73	-8.27
	(市民利用系)	33,784,149.65	32,094,942.17	32,798,494.37	32,265,332.76	31,351,772.33	92.80	-7.20
	(学校等)	4,378,593.00	4,159,663.35	4,805,156.00	4,715,208.00	4,625,714.70	105.64	5.64
	合計	40,669,024.45	38,635,573.23	40,000,958.37	39,323,367.66	38,276,572.37	94.12	-5.88
LPガス(m)	(庁舎部門)	13,040.60	12,388.57	11,906.32	14,870.94	14,258.49	109.34	9.34
	(市民利用系)	45,605.07	43,324.82	42,266.02	41,254.49	37,872.25	83.04	-16.96
	(学校等)	34,753.01	33,015.36	20,716.37	20,964.92	8,426.92	24.25	-75.75
	合計	93,398.68	88,728.75	74,888.71	77,090.35	60,557.66	64.84	-35.16
灯油(ℓ)	(庁舎部門)	60,218.40	57,207.48	65,408.40	56,331.00	49,818.96	82.73	-17.27
	(市民利用系)	432,950.68	411,303.15	484,023.70	382,834.65	361,097.50	83.40	-16.60
	(学校等)	286,326.68	272,010.35	355,257.00	326,063.00	329,512.00	115.08	15.08
	合計	779,495.76	740,520.97	904,689.10	765,228.65	740,428.46	94.99	-5.01
A重油(ℓ)	(庁舎部門)	131,200.00	124,640.00	123,700.00	117,200.00	123,850.00	94.40	-5.60
	(市民利用系)	1,213,368.00	1,152,699.60	1,140,712.00	1,099,540.00	1,249,281.00	102.96	2.96
	(学校等)	217,001.00	206,150.95	157,153.00	140,593.00	72,962.00	33.62	-66.38
	合計	1,561,569.00	1,483,490.55	1,421,565.00	1,357,333.00	1,446,093.00	92.61	-7.39
ガソリン(ℓ)	(庁舎部門)	157,669.64	149,786.16	158,063.23	163,710.15	139,576.71	88.52	-11.48
	(市民利用系)	9,330.77	8,864.23	1,274.36	1,755.45	1,389.95	14.90	-85.10
	(学校等)	7,571.17	7,192.61	5,804.37	5,538.83	5,587.94	73.81	-26.19
	合計	174,571.58	165,843.00	165,141.96	171,004.43	146,554.60	83.95	-16.05
軽油(ℓ)	(庁舎部門)	101,301.63	96,236.55	101,411.34	81,089.80	55,935.23	55.22	-44.78
	(市民利用系)	9,071.82	8,618.23	9,047.36	8,656.35	45,372.95	500.15	400.15
	(学校等)	5,479.30	5,205.34	618.30	2,958.50	581.90	10.62	-89.38
	合計	115,852.75	110,060.11	111,077.00	92,704.65	101,890.08	87.95	-12.05
一般廃棄物の焼却(t)	合計	3,834.88	3,643.14	3,882.80	4,944.44	5,152.37	134.36	34.36

6 二酸化炭素排出量の実数及び削減目標値

平成27年度の二酸化炭素排出量は、「基準年(平成24年度)」に対して3.53%上回る結果となった。

【表6】

項目	単位	平成24年度 (基準年) 二酸化炭素 排出量	平成27年度 二酸化炭素 排出量の目標	平成25年度 二酸化炭素 排出量	平成26年度 二酸化炭素 排出量	平成27年度 二酸化炭素 排出量	基準年に 対する比率 (平成27年度)	基準年に 対する増減率 (平成27年度)
		①	①×95%	②	③	④	⑤(④/①)(%)	⑥-100(%)
電気	排出量(kg-CO ₂)	24,401,414.67	23,181,343.94	24,000,575.02	23,594,020.60	22,965,943.42	94.12	-5.88
LPガス	排出量(kg-CO ₂)	560,392.08	532,372.48	449,332.26	462,542.10	363,345.96	64.84	-35.16
灯油	排出量(kg-CO ₂)	1,940,944.44	1,843,897.22	2,252,675.86	1,905,419.34	1,843,666.87	94.99	-5.01
A重油	排出量(kg-CO ₂)	4,231,851.99	4,020,259.39	3,852,441.15	3,678,372.43	3,918,912.03	92.61	-7.39
ガソリン	排出量(kg-CO ₂)	405,006.07	384,755.76	383,129.35	396,730.28	340,006.67	83.95	-16.05
軽油	排出量(kg-CO ₂)	298,900.10	283,955.09	286,578.66	239,178.00	262,876.41	87.95	-12.05
一般廃棄物の焼却	排出量(kg-CO ₂)	10,603,443.20	10,073,271.04	10,680,642.00	13,671,374.39	14,246,313.00	134.36	34.36
合計		42,441,952.54	40,319,854.92	41,905,374.30	43,947,637.13	43,941,064.36	103.53	3.53

7 削減目標に向けての具体的な数値と今後の対応

平成27年度の二酸化炭素排出量は、基準年(平成24年度)数値42,441,952.54kg-CO₂を上回り、比較すると3.53%上回る結果となった。基準年に対して増加傾向となった要因は、一般廃棄物(プラスチックごみ)の焼却量が増加したためと考えられる。可燃ごみ全体の排出量は基準年を下回っているが、ビニール・合成樹脂・ゴム・皮革類の占める割合が年々増加傾向にあることから、ごみの減量化・資源化を図るため4R運動(ごみの発生抑制・排出抑制・再利用・ごみの再生利用)に取り組むことが重要である。

第3期計画が平成27年度で終了することから、これまでの取組結果や地球温暖化対策を取り巻く状況の変化を踏まえ、第4期計画を策定した。第4期計画では、平成26年度を基準年度とし、平成28年度から平成32年度までの5年間で温室効果ガス(二酸化炭素)の排出量を5%削減することを目標とし、目標達成のために引き続き事務事業を行う際の環境負荷の低減を図ることが必要である。

【表7】

		計画の数値	目標達成に向けての数値
基準年	平成24年度	42,441,952.54	42,441,952.54 kg-CO ₂ 【実数】
	平成25年度	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">5%削減目標</div>	41,905,374.30 kg-CO ₂ 【実数】
	平成26年度		43,947,637.13 kg-CO ₂ 【実数】
目標年	平成27年度		40,319,854.92

